

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年9月9日
【事業年度】	第11期（自平成22年8月1日至平成23年7月31日）
【会社名】	株式会社フルスピード
【英訳名】	Full Speed Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田中 伸明
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区円山町3番6号
【電話番号】	03（5728）4460（代表）
【事務連絡者氏名】	管理本部副本部長 栗田 洋
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区円山町3番6号
【電話番号】	03（5728）4460（代表）
【事務連絡者氏名】	管理本部副本部長 栗田 洋
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年7月26日に提出いたしました第11期（自平成22年8月1日至平成23年7月31日）有価証券報告書の訂正報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、連結財務諸表の記載内容に係る訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

(1) 連結経営指標等

第2 事業の状況

1 業績等の概要

(1) 業績

4 事業等のリスク

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

連結損益計算書及び連結包括利益計算書

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

(訂正前)

回次 決算年月	第7期 平成19年7月	第8期 平成20年7月	第9期 平成21年7月	第10期 平成22年7月	第11期 平成23年7月
売上高 (千円)	5,142,555	9,425,704	13,209,883	13,956,234	15,201,648
経常利益又は経常損失 () (千円)	851,446	1,483,690	640,500	455,827	66,334
当期純利益又は当期純損失 () (千円)	477,500	844,193	137,552	1,678,387	1,322,680
包括利益 (千円)	-	-	-	-	1,315,967
純資産額 (千円)	1,129,027	2,861,013	3,025,014	1,325,412	11,554
総資産額 (千円)	2,059,417	6,692,470	8,066,064	8,329,326	4,733,293
1株当たり純資産額 (円)	44,240.88	20,044.60	20,478.73	8,251.87	97.30
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額 () (円)	18,710.84	6,099.18	969.98	11,737.05	9,209.52
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 (円)	-	5,851.38	949.51	-	-
自己資本比率 (%)	54.8	42.0	36.3	14.2	0.3
自己資本利益率 (%)	42.3	42.9	4.8	81.7	226.0
株価収益率 (倍)	-	29.64	52.99	2.31	2.95
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	512,078	908,093	19,527	650,728	437,568
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	301,917	1,836,870	1,824,186	1,717,526	23,177
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	84,470	2,316,666	1,468,161	777,634	304,686
現金及び現金同等物の期末残高 (千円)	628,820	2,016,710	1,680,212	1,390,655	1,500,360
従業員数 (人)	134	190	247	337	208
(外、平均臨時雇用者数)	(33)	(35)	(19)	(57)	(12)

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 第7期の株価収益率については、当社株式は非上場であったため記載しておりません。

3. 第7期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権の残高がありますが、当社株式は非上場であったため、記載しておりません。

4. 当社は、平成20年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。

5. 第10期および第11期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(訂正後)

回次 決算年月	第7期 平成19年7月	第8期 平成20年7月	第9期 平成21年7月	第10期 平成22年7月	第11期 平成23年7月
売上高 (千円)	5,142,555	9,425,704	13,209,883	13,956,234	15,201,648
経常利益又は経常損失 () (千円)	851,446	1,483,690	640,500	455,827	66,334
当期純利益又は当期純損失 () (千円)	477,500	844,193	137,552	1,678,387	1,322,680
包括利益 (千円)	-	-	-	-	1,315,967
純資産額 (千円)	1,129,027	2,861,013	3,025,014	1,325,412	11,554
総資産額 (千円)	2,059,417	6,692,470	8,066,064	8,329,326	4,733,293
1株当たり純資産額 (円)	44,240.88	20,044.60	20,478.73	8,251.87	97.30
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額 () (円)	18,710.84	6,099.18	969.98	11,737.05	9,209.52
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 (円)	-	5,851.38	949.51	-	-
自己資本比率 (%)	54.8	42.0	36.3	14.2	0.3
自己資本利益率 (%)	42.3	42.9	4.8	81.7	226.0
株価収益率 (倍)	-	29.64	52.99	2.31	2.95
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	512,078	908,093	19,527	650,728	437,568
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	301,917	1,836,870	1,824,186	1,717,526	23,177
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	84,470	2,316,666	1,468,161	777,634	304,686
現金及び現金同等物の期末残高 (千円)	628,820	2,016,710	1,680,212	1,390,655	1,500,360
従業員数 (人)	134	190	247	337	208
(外、平均臨時雇用者数)	(33)	(35)	(19)	(57)	(12)

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 第7期の株価収益率については、当社株式は非上場であったため記載しておりません。

3. 第7期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権の残高がありますが、当社株式は非上場であったため、記載しておりません。

4. 当社は、平成20年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。

5. 第10期および第11期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

第2 【事業の状況】

1 【業績等の概要】

(1) 業績

(訂正前)

< 前略 >

このような事業環境の中、当社グループは、独自の法人支援プラットフォーム「フルスピードクラブ」を通じ、インターネットマーケティングを中心とした各種サービスの提供に注力してまいりました。グループ全体で積極的に事業活動に努めたことにより、前年同期と比較し8.9%の増収となりました。一方、利益においては、当第3四半期連結累計期間までのノンコア事業（アパレル事業等）における販売費及び一般管理費の増加や、当該事業を運営する子会社ののれん償却（連結調整勘定）が負担となり赤字基調となったものの、平成23年5月13日付で公表しましたとおり、アパレル事業の売却を当第4四半期連結会計期間において実施したため、当第4四半期連結会計期間は黒字基調であるコア事業のみとなり、通期においても営業黒字を確保することができました。

しかしながら、アパレル事業の売却においてはノンコア事業の切り離しとして、今後の当社の成長においては経営リソースの集中が可能になることや財務負担の軽減につながることから前向きな施策であるものの、アパレル事業を運営する株式会社ギルドホールディングスおよびギルドコーポレーション株式会社の株式を譲渡したことにより、当第3四半期連結会計期間において、子会社株式の譲渡に伴う損失719,907千円を計上することとなりました。また、同じくノンコア事業に位置付けている株式会社JPSののれん償却80,599千円に加え、投資有価証券評価損141,147千円等を特別損失として計上したことにより、当期純損失を計上することとなりました。

以上により、当連結会計年度における売上高は15,201,648千円（前年同期比8.9%増）、営業利益20,250千円（前年同期は営業損失302,877千円）、経常損失66,334千円（前年同期は経常損失455,827千円）、当期純損失1,322,680千円（前年同期は当期純損失1,678,387千円）となりました。

< 後略 >

(訂正後)

< 前略 >

このような事業環境の中、当社グループは、独自の法人支援プラットフォーム「フルスピードクラブ」を通じ、インターネットマーケティングを中心とした各種サービスの提供に注力してまいりました。グループ全体で積極的に事業活動に努めたことにより、前年同期と比較し8.9%の増収となりました。一方、利益においては、第3四半期連結累計期間までのノンコア事業（アパレル事業等）における販売費及び一般管理費の増加や、当該事業を運営する子会社ののれん償却（連結調整勘定）が負担となり赤字基調となったものの、平成23年5月13日付で公表しましたとおり、アパレル事業の売却を当第4四半期連結会計期間において実施したため、当第4四半期連結会計期間は黒字基調であるコア事業のみとなり、通期においても営業黒字を確保することができました。

しかしながら、アパレル事業の売却においてはノンコア事業の切り離しとして、今後の当社の成長においては経営リソースの集中が可能になることや財務負担の軽減につながることから前向きな施策であるものの、アパレル事業を運営する株式会社ギルドホールディングスおよびギルドコーポレーション株式会社の株式を譲渡したことにより、第3四半期連結会計期間において、子会社株式の譲渡に伴う損失707,576千円を計上することとなりました。また、同じくノンコア事業に位置付けている株式会社JPSののれん償却92,930千円に加え、投資有価証券評価損141,147千円等を特別損失として計上したことにより、当期純損失を計上することとなりました。

以上により、当連結会計年度における売上高は15,201,648千円（前年同期比8.9%増）、営業利益20,250千円（前年同期は営業損失302,877千円）、経常損失66,334千円（前年同期は経常損失455,827千円）、当期純損失1,322,680千円（前年同期は当期純損失1,678,387千円）となりました。

< 後略 >

(訂正前)

<アパレル事業>

当第3四半期連結累計期間までにおいて、当事業では様々な販売施策や広告宣伝施策を講じるなど積極的な販売活動を行ってまいりましたが、個人消費の低迷や低価格攻勢に加えて、東日本大震災の影響を受けたこと等により、厳しい事業展開を強いられる結果となりました。

<後略>

(訂正後)

<アパレル事業>

第3四半期連結累計期間までにおいて、当事業では様々な販売施策や広告宣伝施策を講じるなど積極的な販売活動を行ってまいりましたが、個人消費の低迷や低価格攻勢に加えて、東日本大震災の影響を受けたこと等により、厳しい事業展開を強いられる結果となりました。

<後略>

4 【事業等のリスク】

(訂正前)

その他

(g) 継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況

当社グループは、当第3四半期連結会計期間においてはアパレル事業を営む子会社株式の譲渡に伴う特別損失707,576千円を計上したこと等により、当期純損失1,322,680千円を計上したため、純資産が11,554千円と大幅に減少しました。

<後略>

(訂正後)

その他

(g) 継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況

当社グループは、当連結会計年度においてはアパレル事業を営む子会社株式の譲渡に伴う特別損失707,576千円を計上したこと等により、当期純損失1,322,680千円を計上したため、純資産が11,554千円と大幅に減少しました。

<後略>

第5 【経理の状況】

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

【連結損益計算書及び連結包括利益計算書】

(訂正前)

【連結包括利益計算書】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自平成21年8月1日 至平成22年7月31日)	当連結会計年度 (自平成22年8月1日 至平成23年7月31日)
少数株主損益調整前当期純損失()	-	1,340,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	24,681
その他の包括利益合計	-	24,681
包括利益	-	1,315,967
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	-	1,201,059
少数株主に係る包括利益	-	114,907

(訂正後)

【連結包括利益計算書】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自平成21年8月1日 至平成22年7月31日)	当連結会計年度 (自平成22年8月1日 至平成23年7月31日)
少数株主損益調整前当期純損失()	-	1,340,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	24,681
その他の包括利益合計	-	24,681
包括利益	-	1,315,967
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	-	1,297,998
少数株主に係る包括利益	-	17,968